

松 楓

令和7年9月1日 発行

題字 故 井上知真元校長

49



水彩画「かつての天覧山駅・通学風景」 24回卒 市川光男

埼玉県立飯能高等学校校歌

町田多加次 作詞
鈴木宣彰 作曲

一、雲光る

仰ぎみる 碧き多峯主
眼差しさやか

若き我らが 生命燃えて

ああ限りなく 高鳴る胸よ

ここ飯能の 学びの庭に

友よいざ 師とともに

励み鍛へん

三歳の秋を

二、夕靄の

縫いめぐる 天地の間

若き我らが 入間の水に

ああ流れゆく 思念浮かべ

ここ飯能の 学びの園に

友よいざ 師とともに

尋ね捜さん

明日の道を

三、大空は

武蔵野に 暁のいろ

若き我らが 陽はまた昇る

ああ唳々と 哀歓揺れて

ここ飯能の 吹く朝風よ

友よいざ 学びの窓に

謳い歩まん 師とともに

青春の日を

昭和50年制定

※「松楓」とは女学校創立時、松組と楓組の2クラスから始まったことから会報名となりました。

新たな活動の始まり



24回卒 会長 都築 敏夫
(飯能市在住)

会員の皆様には、日頃から同窓会の事業運営に對しましてご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

6月7日に開催されました令和7年度総会も、皆様のご協力によりまして、滞りなく無事終了いたしました。

同窓会の主な事業は、会報の

発行ですが、会報につきましまして、卒業生と学校のご協力をいただきます。読み応えのある楽しい会報になるよう、役員一同頑張っております。特に昨年の会報から、クラス会の情報を載せております。クラス会をやりまします。あるいは、クラス会をやりまします。そんな情報を掲載しております。是非、クラス会関係の情報を寄せてください。その他の事業といたしまして、

昨年は、学校と直接コミットする二つの新規事業を実施いたしました。一つは、昨年の9月8日に文化祭(榛の木祭)に参加いたしました。同窓会として文化祭に参加することは初めてのことであったので、試行と言うことで実施いたしました。そのためPRは行いませんでした。学校から良い場所を提供して頂き、同窓会コーナーを運営いたしました。文化祭に参加した感触として、今後も継続して文化祭に参加できると考えております。今年から、PRもしつかりして、多くの方に文化祭の同窓会コーナーに来て頂きたいと思っております。今年度の企画といたしまして、

校内、学校周辺を撮影した昔の写真展を考えています。(詳しくは、12ページをご覧ください) 二つ目の事業は、ホームカミングデーと称しまして、11月14日に卒業生が学校を訪問するという企画でした。新設校として新たにスタートした母校がどんな風になったのか、また話題の図書館はどんな様子なのかなど、実際に学校を訪問して、いろいろ知ることができました。この学校訪問の際に、昔の飯高の写真が多数残されていることがわかりました。パネル加工ができてあり、そのまますぐに展示できるものでした。今年の文化祭の同窓会コーナーでは、この昔の

写真を展示したいと考えています。今年もホームカミングデーを実施する予定ですが、ただ学校を訪問するのではなく、卒業生と在校生と一緒に参加できる事業を企画しています。卒業生と在校生の距離がぐつと近づくのではないかと期待しています。(詳しくは、12ページをご覧ください) いずれにしましても、同窓会の事業につきましては、卒業生、学校の協力が不可欠です。今後ともご協力をお願いいたします。



「地域に開かれた学校」を目指して

校長 矢島 得充



平素より本校の教育活動に對して特段の御理解・御協力を賜り心より感謝申し上げます。

はじめに私事で恐縮ですが、本校の校長として4年目を迎えました。この間、同窓会の皆様におかれましては、これまで様々な機会でお力添えをいただいていることに重ねて御礼申し上げます。

さて、今回は本校の取組の一つ「地域に開かれた学校」をテーマにお話をしたいと思っております。現行の学習指導要領では、「社会に開かれた教育課程」の実現が基盤となっております。学校教育を地域や社会、世界と連携・協働させ、子どもたちがより良い社会と幸福な人生を自ら創り出す力を育むことが求められています。これは、学校が学校という一つの箱の中で一方的に教育内容を伝え教育を完結

するのではなく、地域社会の資源を活用したり、社会と連携したりしながら、子どもたちが主体的に学び、社会で活躍できる人材を育成することを目指すものです。本校においても新設開校に合わせて、この考え方を教育計画の中に取り入れてきました。具体的には、「総合的な探究の時間」の他、学校設定科目として「地域創造学」等を設置し、地域と協働しながら主体的な学びの実現に向けて取り組んできました。地域の企業や大学、市役所などの行政機関等で活躍されている方をお招きし、社会の課題や地域の情報など提供していただき、生徒と共に課題に取り組

んでいただいたり、伴走していただいたり様々なスタイルで本校の教育活動を支えていただいております。このように教員以外の社会で活躍する魅力ある方々に本校の教育の一端を担っていただくことで、生徒にとっては視野を広げ主体的に学ぶ力が養われることとはもちろんですが、教員にとっても視野を広げ、社会から教育に求められることや教育の役割を改めて知る機会となり、本校の教育の質を高めることに繋がっております。また、教育課程以外の学校行事にも、地域と関わり、地域を知る機会として取り入れた行事があります。それは、飯能市主

催の「飯能新緑ツアーデー」への参加です。市内15kmのコースを歩きながら、友人や教員、市のボランティアの方々との交流を楽しみました。市からも大歓迎され、保護者や教員の負担を軽減することにも繋がりました。市の方々に飯高生を知っていただく良い機会になりました。むすびに、今後も「地域に開かれた学校」の実現を目指して、地域から期待される魅力ある学校づくりに取り組んでまいりますので、同窓生の皆様におかれましては、本校の教育活動への変わらぬ御理解・御協力のほどよろしくお願いいたします。

飯能新校となった経緯

23 回卒 澤田 清志
(飯能市在住)



飯能高校が飯能南高校と統合し、新校とスタートしたのが、令和5年(2023年)4月でした。ここに、統合をした記録を記しておきます。

(2018年) 県教委は、「魅力ある・・・(再編整備の進め方)」の中で、公立中学校卒業生が平成29年3月から12年後で、約6000人減少を見込み、県南西部、川越比企及び西部地域から2〜4校の再編整備を行うことを検討した。

令和元年(2019年) 12月、「魅力ある県立高校づくり 第1期実施方策」の中で、飯能新校の概要を公表。飯能高校と飯能南高校を統合し、令和5年度開校。飯能高校、飯能南高校は令和4年度入学者選抜まで生徒募集を行う。飯能南高校に入学した生徒は、令和6年度までの間は原則として現在の飯能南高校の場所で開催を行う。ということ、令和7年3月に南高校に入学した生徒70名が最後の卒業生として巣立っていきました。

平成28年(2016年) 埼玉県教育委員会(以下「県教委」)は、今後少子高齢化や生産年齢人口の減少などにより、社会や経済における活力の低下を危惧、県立高校それぞれの活性化・特色化を図り、生徒一人一人に将来たくましく生き抜く力を育成し、自己実現を支援するとともに、将来の埼玉を担う人材の育成を目的とした「魅力ある県立学校づくりの方針」を策定。適正規模(一学年当たり8〜6学級)を下回る学校については、県立高校の活性化の観点から、地域性を考慮しながら近隣の学校との統合などによる再編整備を行うとした。



平成30年

大正14年(1925年) 飯能町と九ヶ村(加治・元加治・精明・南高麗・高萩・高麗・川・東吾野・原市場)の学校組合立飯能実科高等学校として開校した当初は、1年生30名、2年生37名の生徒、職員7名でした。そして今年度(令和7年4月) 全日制生徒数1年生277名、2年生267名、3年生249名、教職員69名、定

時制生徒数1年生6名、2年生5名、3年生6名、4年生8名、教職員13名となり、卒業生も2万7千人を超え、規模と共に歴史が大きく積み上がっています。

喜寿の祝

吉澤勇先生を偲ぶ会



19 回卒 遠藤 英次
(飯能市在住)

飯能高校軟式庭球部第17〜21回の男女有志18名が、吉澤勇先生を偲ぶ会を令和7年3月30日(日)に催しました。菩提寺にお墓参り、その後恩師を偲び、想い出を語り合う会場に移動しました。

私は昭和42年卒で、1学年550名(11組)の団塊の世代です。昭和39年の東京オリンピック後、世の中は高度経済成長期に突入し、景気が上向いた時期に高校生活を送りました。

私が入学した時、吉澤先生は飯能高校に赴任されて2年目、私の担任であると同時に軟式庭球部の顧問でもありました。血気盛んな先生には、テニスにも勉強にも熱心にご指導をいただきました。先生・先輩の指導で1年生の時にテニスコートの面数を増やすため、東飯能駅の余

ます。令和7年4月、新校としての飯能高校は3回目の入学式を迎えました。大正14年創立から数えて、104回目となります。

刺資材としてのコークスをいただき運んだ思い出があります。そのコート整備は、雨が降った翌日のローラー引きです。それも授業が始まる前のことですから、電車通学の人は早く家を出ています。

1年生の始めに、先輩から入部した目的を聞かれました。「健康増進です」と言うこと笑われながら怒られました。「競技志向で練習に取り組み全国大会への出場を目指しなさい」とのことです。ホヤホヤの高校生にはピンとこなかったようです。

それからあなたがたも修行のようになり、我慢の連続でありました。2年生の夏、校内合宿の時に私たちがヘトヘトに疲れている様に見えたのか、先輩が用意した元気になる?生ニンニクを食べさせられ、校内中に臭いが充満して登校日には不評を買いました。

天覧山に登り、大きな声を出すために山波に向かって発声練習をしたこと。雨の日には柔軟体操と称して室内でウサギ跳び(後には禁止となる)を行い、膝が笑うほどガクガクしたことです。基礎体力作りの思い出は尽きません。ベースライン上に2対1でラ

一人一人の生徒が、これからの日本を担う人材として、大きくたくましく成長することを期待します。

リ1の打ち合いを10分位、一人側は前後左右に振られクタクタになりました。(根性的物語かな。)

高校生活はテニス部の活動に全力で取り組みました。練習や試合を通して我慢強さや忍耐力を身につけることができました。そして男女ともに関東大会及びインターハイ(青森)への出場を果たし、女子は埼玉県大会優勝・インターハイ団体4位の素晴らしい成績を収めました。これもひとえに吉澤先生の熱心な導きがあつてこそその賜物です。

吉澤勇先生(享年79歳)
令和2年3月24日逝去



「野菜フレンチ」を日本で初めて提唱した

小峰 敏宏シェフへの インタビュー

26 回卒 小峰 敏宏（飯能市在住）



Q 高校生活の思い出は？

小峰シェフ

制服の自由化を

一生懸命やっています。当時、他校の影響があり、生徒総会で提案しましたが、だめでした。

Q シエフの道を志したきっかけは？

小峰シェフ

小学校の頃から料理への気持ちはありました。

男兄弟3人の真ん中で、母の手伝いは自分の役目でした。今でも母の料理が思い出の味です。

Q 「料理の鉄人」へ出演された経緯や感想は？

小峰シェフ

坂井シェフとの

対決でした。評論家の方に推薦されて出演しましたが、大変でした。

Q 「野菜フレンチ」を始められたのはどうしてですか。

小峰シェフ

私や子どもにア

レルギーがあったことです。1988年にお店を始めた頃は、チェーン店などが台頭してきた

ことで、農家は規格にあった野菜を作らなければならなくなり、

農薬を多く使用するようになりました。そのことで体を壊す農

家の方が多かったのです。それで農家の方は、農薬を使わずに

自分たちが食べる野菜を作っていて、それを分けてもらいお店

で使うようにしました。その野菜を使っているうち、「野菜つ

て本当に美味しいんだ」という

イメージが生まれて、「野菜だけのスペシャリティ（名物、特別料理）みたいなものができな

いか」ということになりました。

1、2年位試行錯誤しているうちに段々と年間を通してコース

料理ができるようになり、「野菜のフルコース」を作ったのが

きっかけでした。そういうことがあって「野菜」の認知度が上がってきたわけです。

それでマスコミの人たちとの

ご縁や、本もたくさん出させて頂いたりして、農薬を使わない

ちゃんとした野菜を食べようと

か使おうとか、そういうことを

盛んにマスコミに言っていること

とによって、段々と社会的な風潮

みたいなのものができてきた、

というのは当時すごく実感したこと

でした。

Q 飯能にお店「アトリエ・ド・コンマ」を始められたのは？

小峰シェフ

60歳を機に、東

京のお店を閉めました。飯能に戻ってきて、アルバイトなどをしていたのでありますが、周りからお店をやってほしいという声があり飯能で始めました。



落ち着いた雰囲気の店内

先輩・後輩

62年前の思い出



16 回卒
戸田 博
(飯能市在住)

松楓に今年80歳になる人の原稿を頼みたいと依頼が来ました。飯能高校を卒業してから60年以上たつてからです。

私達が生まれた年は昭和20年終戦の年度で、終戦前の4月生まれの人から終戦後の昭和21年3月生まれの人達で、人口の最も少ない年代です。令和になって高校を卒業した人からしてみれば、私たちが自分のおじいさんやおばあさんに当たるかも知れません。高校の思い出も薄れかけてきていますが、当時私たちが卒業の年に船木一夫の「高校3年生」の歌が大ヒットして、クラスで何かにつけて歌った記憶があります。

3年の冬休みの思い出 クラスの友達からアルバイトの誘いがあり、日君の近くの蕎麦屋に3人でアルバイトに行くことにしました。最初の仕事は蕎麦の出汁に使う鰹節を機械で削る事で、硬い鰹節なので力い

っぱい押し付けたり、ネギを切ったりです。次の日は、配達の仕事です。最初は店の人と何回かお得意さん廻りをしたのかもしれないですが、ある日ついに一人で配達を頼まれました。どんぶりを乗せたお盆を右手に持ち、左手で自転車のハンドルを持って出かけました。途中で緊張のあまり届け先を忘れてしまいました。帰ることもできず困っていました。少し先に行くと、聞いたことのある設計事務所があったので、「お待ちどおさまでした」と声をかけて届けると「苦勞さんです」と、受け取ったのでホッとして帰った事を思い出しました。

大晦日、蕎麦屋は大忙しです。その日も何度も配達をして、大分慣れてきました。昼間、小雨があり道路が湿っていました。夕方配達を依頼され、少し上等の「エビの天ぷらと蕎麦」を配達、自転車で行く途中、自転車の後輪が濡れている道でスリッパして、どんぶりを乗せたお盆を落としてしまいました。急いで落とした料理、割れたどんぶりを道の端に片付けて急いで店に帰り、料理を落としたことを告げました。お店の人は、「落とした事は気にしないでいいが、落としたものを片付けて」「料理はすぐ作るから」と言われ、もう一度配達に行きました。頭

の中は80歳になる様な気がしません。ただし少しずつ変化しています。

妻との話の中で、店の名前や人の名前が出て来ません。前の総理大臣の名前さえ出ません。それが少し経過するとある時「ふつ」と思い出します。テレビも声は聞こえるけど言葉が聞き取れない事が多い。80歳近くになると多くの人がこの様になると聞いています。

今は呆けない様にいろいろな所に顔を出すことにしています。

飯高から県警へ



22 回卒
堀口 孝志
(さいたま市在住)

私は現在73歳で警察福祉協会大宮市部長をしています。この度、編集部の豊田美子さんから寄稿の話をいただいたので、飯高から県警退職までを振り返ります。

○飯高柔道部

私の家は、八高線毛呂駅のすぐ近くで、兄も弟も飯高卒業です。昭和42年に10クラスの同級生と共に入学した。迷わず柔道部に入るが、当時、県下有数の強豪校で部員数も30名近い。大場先生の熱血指導の下、連日激しい乱取り稽古が行われ、道場

は常に緊迫感と熱気に包まれていた。

大会前は、部室のバリカンで「五厘刈り」の儀式があり、ツルツル頭で女子の前に出るのが恥ずかしかった。練習なしの猛稽古は、ついでいくのに精一杯で、投げられるたびに「いつ辞めようか」と弱気になる。しかし、2学期に入り、どうにか初段が取れて少し自信がついた。2年生の秋には主将を任されるまでになった。

誇れる戦績はないが、最後までやり通した高校3年夏休み、採用試験の募集でお巡りさんが私の家に訪ねてきた。両親に背中を押され受験した。

○埼玉県警採用

昭和45年4月、大宮駅からバスに乗り全寮制の県警察学校に入校し、約250名の同期生と団体生活が始まる。朝6時、起床点呼から夜10時の就寝点呼まで、警察官に必要な法学武道などのカリキュラムでびっしり。

特に最初の1か月間は「塀の中の生活」で徹底して鍛えられる。待望の初外出は、街の景色が新鮮で、両親への土産を手に急いで実家へ向かった。1年間の教育を終え最初の赴任地は、蔵警察署だった。戸田橋交番で警察官の第一歩を踏み出し、平成24年、第三方面本部長を最後に定年退職した。この間、主に警備、交通分野

を担当し、警察署長も2回経験したので色々な事件・事故を扱った。しかし、24回の転勤の中で一番の思い出は、隊長まで全階級を経験した機動隊である。

火災瓶が飛び交う昭和53年の成田空港開港警備や真夏の沖繩サミット警備。また地元飯能の棒ノ嶺お登山警備は、天皇陛下(当時皇太子殿下)のお側で警護し、特に思い出深い。

柔道は3段まで昇段し、振り返ると飯高柔道部の3年間で、県警42年の原動力になったと思う。

山中先生担任の3年5組は、よくクラス会を開催し楽しかった熱海一泊旅行もありました。「飯高を選んで本当によかった」と、つくづく思う今日この頃です。飯能高校ありがとう!!

私は飯高バスケット部です



26 回卒
上神谷由利子
(飯能市在住)

「飯高ファイオー、ファイオー……」このかけ声で練習が始まります。なんとと言っても高校生活の思い出は、部活で明け暮れたバスケットボール部です。私は飯能一中でバスケットボール部でしたが、上下関係が厳しく先輩への挨拶、話し方でビ

クビクして、練習中も緊張していた事を思い出します。

ところが飯高のバスケットボール部は、男女一緒に練習で、先輩はフレンドリーでした。

体育館のコートは思うように使えず、卓球部や体操部と分けあつての練習です。最悪の時は、コート半面を男女一緒に練習です。あたりまえに男女一緒に練習でしたが、体格も体力も差があるのによくやっていたと思います。なのに試合では勝ち進んだ記憶があまり無かったです。

体育館が使えないと飯高から宮沢湖まで山の中を走つて、また、宮沢湖で走つて。ある時は、能仁寺や朝日山の階段で基礎トレ、全員が終わるまでと言つても体力差のある女子がいつも最後までやっていた辛い思い出です。部長に抗議すると決まつて

「試合は男女同じ広さのコート、同じ重さのボール」と言われ、妙な説得ですが今思うと人生の中で大切な経験だつたと思います。

私自身の事では、夏の合宿中に体育館の入口で意識が薄れて倒れました。その時は、熱中症なんて言葉も知らず、陽の当たるところで寝ていましたが、通りがかったレスリング部の先生に抱えられ病院へ、そこで塩水をもう飲めないという程飲まされた記憶があります。やはり熱中症でした。ニュースで熱中症事故

を耳にするたびに思い出す記憶で、あの時助けてもらった事に感謝しています。そして、それからの合宿では、塩水を朝飲んでと言うより飲まされてからのスタートでした。

部活の仲間とは今でも交流があり、先輩も、今でも何かと頼りにしているお姉さん達です。部活で知り合った仲間と今でも交流が続いている事を誇りに思うし、うらやましがられます。

そんな私はいま年金生活



31 回卒
湯本 隆
(秩父市在住)

半世紀前、今の自分を想像できたでしょうか。あの頃の記憶は殆ど失つていますが、自分の将来はどうなるのか少しは考えていたのでしょうか。進学でも就職でも無く進路未定のまま迎えた飯能高校の卒業式でした。

強靱なメンタルを持つているわけではないが、当時の私は何の焦りもなく、暫く具体的な行動に移すことも無かつたと記憶しています。恥ずかしい話ですが、卒業した年に就職しようと思っても、その気がないのだからそれもできず。両親も強い言葉で責めることも無かつたのいいことに、ニート生活を送つてい

ました。その年も終わろうとしていた頃でした、やっと焦りを感じたのでしょうか。何を今更かと思われませんが、進学を決意。当然ながら翌春の受験は見事に失敗。親に泣きつき予備校へ、そして必死に勉強(?)。何とか大学へ進学という運びになりました。

大学は何か無事卒業、やつと就職です。実は定年まで務めた会社は2社目で、転勤が仕事みたいな会社でした。最初の転勤地は新潟県、その後10回の転勤を経験いたしました。内6回は単身赴任、最初は北海道苫小牧でした。丁度家を建てたばかりで、一緒に家族と暮らすのは無理でも、週末は新しい家で過ごせると楽しみにしていた矢先のことでした。この時は本当に会社を恨みました。乗用車が不可欠な地方への転勤のため、ファミリーで苫小牧港を目指しました。到着した時には涙ぐんだ記憶があります。単身赴任は丁度10年経験しました。辛いこと楽しいこと色々ありましたが、楽しかったことばかりを思い出します。

この度「松楓」寄稿のお話をいただいた時、何一つ自慢できるものもない私でしたので、正直返事に迷いました。秩父に生まれ、変化に順応することが苦手だった私でした。井の中の蛙が大海に出てみたのはいいけれど、大丈夫だったという話でございませう。そんな私でしたので定年まで勤め上げたことは、正に栄光のゴールでした。そして今、無事年金を貰えるようになったのです。

令和5年の春、クラスメイトから何十年振りかに連絡をいただきました。その後クラス会が行われ皆と楽しく再会できました。この先、皆といつまでも定期的に会うことを楽しみに、健康管理に一層留意したいと思っております。

拙文お読みいただきありがとうございます。ありがとうございました。

人生の節目を迎えて



36 回卒
濱中 悦子
(飯能市在住)

夢中で走ってきた人生のような気がします。ふと立ち止まると還暦を迎えた自分がいて、時の流れの早さに驚くばかりです。私の人生の選択を大きく左右したのは、飯高ホッケー部に入つた事に繋がります。

高校1年の秋、早くもバレー部を辞めた私のところにホッケー部の子達が「人数が足りなくて新人戦に出られないので試合だけでいいから出てくれないか? お願い!!」と頼みこまれ断り切

れず、3回練習して試合に出ました。

案の定、すごい大差で敗退。しかしその負けた悔しさと、ホッケー部の仲間に着かれてそのまま入部。その時のホッケー部は、男子は廃部、女子は指導者もいない、部員も揃わず、コートは半面もない状況でした。

2年生になった時に、今もなお活躍の鯨井先生がはじめて顧問となり、厳しい?練習の力と力を付け、最後の試合では初の1点!!嬉しかったのを覚えています。結果は引き分けでしたが、対等に戦えるまでのチームに成長しました。ちなみに持久力のなかった私は、自らゴールキーパーを志願しゴールを守つていました。現在のホッケー部は、インターハイでも常連校。あの時ホッケー部を繋ぐことができ

て本当によかったです。この減る寸前だった時に、指導に来て頂いていたOBの方の一人が、今の主人で地元飯能で飲食店を営む、レストランH A M A のマスターでした。この時の出逢いから卒業して数年後に私はH A M A に永久就職する運びとなりました。

お陰様でH A M A も創業50年が過ぎ、お店としても大きな節目を迎えました。決して楽な道りではありませんが、役目を果たせてホッとします。また多くのお客様との出逢いは

私の人生の宝です。自分の子供達には、親の背中がどのように映ったのかわかりませんが、息子も地元に戻り、父親の夢だった2号店を開き、HAMAを守り続けてくれて、娘も力を貸してくれて、家族で志一つに働ける事、幸せと思います。

改めて人生の大きな節目還暦を、健康で無事に迎えられた事に感謝です。

これからは少しペースを落とし、人生の後半戦を楽しみ、いくつになっても「今が一番楽しい！」と思えたら幸せです。

振り返ると色々な事が蘇ります。もし御来店の機会がありましたら、ぜひ声をかけてくださいます。思い出話に花が咲いたら嬉しいです。

師の一言から現在へ



46回卒
平沼 剛
(飯能市在住)

3年生の時に進路を何も考えていなかった私は、1年ぐらい好きな事をして自動車学校へ通い免許が取れば良いと思っていました。

飯能高校への進学は、自宅から近いからという理由だけで選んだ。とにかく自分の時間が欲

しかったのだと思う。片道10分もかからずに通学できるのだから、こんなにありがたい事はない。

そんな私だから三者面談の時も何も決まっていなかった事を伝え、当時担任の平沼先生が、「市役所の試験を受けてみる」と一言。

普段市役所になじみのなかった私は、「市役所って何をやるどころ？どんな仕事があるの？」

と何もわからないまま、ひとまず公務員試験のための教材で勉強した。ただ一つ、家から近いと言う事はわかっていたので、受けてみようと思った。

運が良かったのか、無事に飯能市役所へ入所する事ができた。あの一言がなかったら、どうなっていたかわからないが、担任には、本当に感謝している。平沼先生ありがとうございます。

市役所に入所し、右も左もわからない18才の小僧が配属された部署の係長さんが、なんと飯能高校卒業の大先輩で、親切にたくさん事を教えてくれた。そして市役所の中を見渡すと、いろいろな部署に卒業生がおり、声をかけてくれてとても心強かった。

仕事を始めて数年が経過すると、大学卒の同級生や先輩たちが入所し、私が入ってよかったように声をかけてあげ、喜んでもらった。

多くの人が高校を卒業すると、地元と離れて活動の場を広げている。私のように地元で生まれ、地元の学校を経て地元で仕事をすると、先輩後輩関係なくたくさんの仲間に出会う事ができる。どちらが正解かなんて事は誰にもわからないが、自分が選んだ道は後悔のないように歩んでいきたい。そして一度きりの人生だから楽しんでいきたい。

そんな自分の人生の通過点として飯能高校に在籍していた事は大きなプラスになっていると実感している。たくさんのお会いに感謝の気持ちを忘れずあります。

あの頃の自分に伝えたいこと



51回卒
齊藤 由香
(飯能市在住)

高校、大学、社会人、指導者と、高校時代から今もホッケー場にいる日々を送っています。子供が生まれ、新しく出来たお母さん同士の友人と話をする機会が増えた頃、大学時代や社会人になって行った事のある海外の話、楽しかった学生時代の話、今の趣味などを聞く機会がありました。大学生の時にたくさんバイトして、数カ国旅行し

た友人。その頃見つけた趣味を仕事として頑張っている友人。ライブに行ったり、ウィンタースポーツをその頃から楽しんでる友人の話など。

なぜかその時急にさみしくなり、あれ？今までの人生においてずっとホッケーばかりやってきてそれ以外何も経験をしてこなかったのではないかと涙が出てきました。

でも、今の年齢に戻りたい？と聞かれた時に、全て精一杯生きてきたので、今が一番と胸をはって答えられます。その頃の思い出や遠征以外で海外に行った経験はありません。数年前、最愛の父を亡くした時、何か出来る事があるか、さみしくないか、前を向けて生きていくか、とずっと支えてくれた、ホッケーの先輩や後輩、仲間がいてくれました。

20数年前、ホッケーを教えた子供達が、社会人になり「あの時ホッケーを教えてもらって、今もホッケーを続けています。」と声をかけてくれた子。スポ少を指導していて、その頃のホッケーの教え子の息子さんと娘さんを教えることが出来ています。

高校、大学とキャプテンとしてチームを引っ張る中で、沢山の葛藤や苦勞がありました。

あの頃、飯能高校の学生だった自分に伝えたい事は、30年後も大好きな子供達と楽しくホッ

ケー出来ているから、そのまま迷わず進んで！と言う事です。ホッケー以外の楽しみ方をしてこなかったけれど、関わってくれた人達や、今でも支えてくれる仲間、楽しんでる母を見てホッケーを始めた息子や姪っ子達、可愛い教え子達。その時間、費やしてきたホッケーへの想いがつながら、今大事な人達の中で生きることが出来ています。

あの頃のコーチは、今息子達のコーチとして一生懸命子供達と向きあってくれています。今スポ少の教え子達が、飯高ホッケー部として伝統を引きついでくれています。その子供達の応援や頑張りも自分の人生の楽しみになっていきます。沢山のきっかけや出会いをくれた飯能高校に感謝の気持ちでいっぱいです。これからも頑張れ!!飯高生!!



H・F・C-HANNO 所属
全日本選手権大会 (天理大学にて)

仲間・出会い

56回卒 浅見 恭介
(飯能市在住)



飯能高校を卒業して約20年が経ちました。今回、会報のお話を頂き、高校時代の思い出などを振り返ってみる良いきっかけになりました。卒業アルバムでも見ないと思いきや、正直な所ですが、陸上部での活動はよく頑張ったと思います。なぜかという、高校生活最大のイベントと言っても過言ではない修学旅行には参加せず、陸上の大会を選んだのです。当時は部長を任せられており、責任感みたいなものがあつたのか、その時期の大会で県大会への出場が決まり、日頃の成果が報われて嬉しかったのかと。今考えれば、それほど情熱を持って取り組んでいたんだらうな。その時に行けなかった沖繩へは、いまだに行けていませんが、今

後の家族旅行で初めての沖繩を体験するのも悪くないかなと、一つの目標にしております。

それと一番思い出すのがバンド活動です。中学生の時に父の影響で始めたエレキギターでしたが、入部した陸上部の先輩方もやっており、本格的に始めるきっかけとなりました。新年の楽器店のセールで初めてギターを購入したり、初めてのレンタルスタジオでの練習、楽譜を買ったり、休日に自宅に集まり練習したり、楽しい思い出が蘇ります。この時に同じ部活の同級生と他校生を交えて組んだバンドがきっかけになり、本格的にデビューを目指し活動を始めていきました。

現在は、重機を走らせ建設現場などに行き、作業をする仕事についており、忙しい日々を過ごさせていたれています。日々違う環境で作業をし、常に勉強しながら経験を積んでいくこの仕事において、

飯能高校で培った情熱を持ち何かに取り組むという姿勢が今の自分を作っているんだと思えます。

この先の人生でどんなことが起こるのかわかりませんが、飯能高校で過ごしたような素敵な時間にしていければいいと思います。

部活の経験



66回卒 石塚 大壽
(所沢市在住)

僕の高校時代は、何よりもバスケットボール部で過ごした時間が大きな思い出として残っています。毎日放課後に練習を重ね、仲間と共に努力し、時には試合にも挑戦しました。最初は自分に自信が持てなかったものの、練習を続けることで少しずつ上達を実感し、プレーに自信が持てるようになりました。練習は厳しく、シュート練習や走り込みが毎日のように続きました。特に印象に残っているのは、シュートフォームの改善に取り組んだことです。最初はなかなか決まらなかったシュートも、フォームを意識して練習を重ねることで、成功率が上がり、自信を持ってシュートを打てる瞬間が訪れました。この努力が、

試合や練習で生きていったことを感じました。また、ある日気づいたのは、個人の成長だけではチームの強さは生まれにくいということでした。シュート練習だけでなく、仲間との連携を意識して練習に取り組むようになりました。パスやディフェンス、チーム全体の動きが合ってこそ、個人の力も引き立つと実感した瞬間でした。それ以来、仲間とコミュニケーションを取ることを意識し、チームの絆を深めることに力を入れました。引退する日が近づくと、バスケット部で過ごした時間はかけがえのないものだと感じました。勝ち負けだけではなく、仲間との絆や共に努力したことが何よりも大切だったと思います。この経験が、僕の今後の人生においても大きな支えとなっていることは間違いありません。

社会人になった今、高校時代のバスケット部の経験は非常に役に立っています。まず、チームワークの重要性。仕事でも、プロジェクトを進める上でチーム全体の協力が欠かせません。バスケット部で仲間と共に連携し、

支え合いながら目標に向かって努力した経験が、今でも生きています。また、目標に向かって努力を続けることの大切さも実感しています。練習を積み重ね、試合で成果を出すために努力したように、仕事でも結果を出すためには地道な努力が必要だと感じています。バスケット部の経験が、社会人としての成長にも大いに貢献していると実感しています。



飯高物語〜縁紡ぎ〜



71回卒
徳江 快斗
(福島県野村)

このたび「松楓」に原稿を書き事になったのは、昨年度の同誌にて、すみっこ図書館の湯川司書の送別会のお知らせを掲載していただいたご縁によるものです。記事掲載に際しご尽力くださった飯能高校同窓会の皆様、この場をお借りして感謝申し上げます。

私は飯能高校第71回卒業生で、平成最後の卒業生の一人です。在学中には様々な思い出がありますが、特に印象深いのは、先生方との関わり、そしてすみっこ図書館での経験でした。

飯能高校の先生方は、学問や人としての在り方について、多くのことを教えて下さいました。例えば、部活動では初心者として男子バスケットボール部に所属し、数々の困難を経験しました。また、3年次の物理の授業では想像以上の難しさに直面し、必死に勉強した記憶があります。いずれも厳しい場面が多かったものの、その中にこそ確かな学びがあり、先生方からは「努力を重ね、自らの手で未来を切り拓くことの大切さ」を教わりました。

マネージャーとして過ごした3年間



新高1回卒
櫻庭 夢来
(入間市在住)

4年前、憧れだった赤チェックのスカートと紺色のブレザーの制服に身を包み私の高校生活は始まりました。慣れないローファーで靴擦れをしたり教室で緊張しながらも自己紹介をしたのを今でも覚えています。やりたい事が見つからなかった私はサッカー部に入学したことで高校生活を充実したものにすることができました。

卒業後は大学・大学院で学びを深め、現在は福島第二原子力発電所で勤務しています。こうして社会人として歩んでいる今も、私にとっての土台には飯能高校で得た学びと経験があります。これからも繋がりを大切に歩んでいきたいと思えます。ありがとうございます、飯能高校。



知人と先輩に誘われ入学したサッカー部。私はルールなど知らずにマネージャーになりました。入部してまもなく先輩方が引退してしまい、右も左も分からない状態で不安と何も出来ないもどかしさに悩まされる日々を送っていました。そんな中、選手や顧問の先生方に恵まれ、何度も助けていただきました。2年生になり、飯能南高校と合同新しくスタートしました。合同チームになり今まで学んだことを活かしながら飯能南高校に合わせる。誇りを持って毎日行っていたことを変えることは難しく、今まで以上に自ら考えて行動することが大切になりました。3年生になると顧問の異

動がありサッカー部の環境は大きく変化しました。そんな中最後の選手権で3年間目標にしていた県大会に出場することが出来ました。県大会では負けてしまいましたがああ舞台は私の人生で忘れられない思い出になっています。そして何年も県大会に出場することが出来なかった飯能高校を変えた選手達は私の誇りです。

現在、私はウェディングカメラマンになるべくブライダルの専門学校に通い勉強に励んでいます。実習に追われ、大変ではありますが仲間と共に充実した日々を過ごしています。影で新郎新婦を支えるこの職はどこか
マネージャーと似た部分があり、高校時代を懐かしく思うこともあります。そんな私ですが有難いことに、先日第1志望の企業様から内定をいただくことが出来ました。そのため、実習だけではなく研修にも励んでいます。全国転勤のため不安はありますが、サッカー部でのたくさんの方々の経験があるためどの場所に行っても全力で頑張れる自信が私にはあります。これからの日々精進していきます。
最後になりますが、飯能高校の益々の発展とみなさまのご多幸を願いまして結びとさせていただきます。

在校生・卒業生
(フラダンス未経験の方)

みんなで踊ろう フラダンス

日時 令和7年11月1日(土)
10:00~12:00
場所 飯能高校
セミナーハウス2階



※詳しくは、12ページをご覧ください。

飯高文化祭 (榛の木祭)

9月7日(日)

昔の写真展を見にいこう

時間 9:30~15:00
場所 2階通路(同窓会コーナー)

令和7年度 飯能高等学校同窓会定期総会

令和6年度 飯能高等学校同窓会 事業報告

事業月日	事業内容
06・04・08	入学式 238名 同窓会会長出席
06・04・20	役員会① ・総会について ・会報について
06・05・08	監査会
06・05・11	役員会② ・総会について ・会報について
06・06・01	定期総会 ・懇親会
06・06・15	役員会③ ・会報発行委員会(松楓48号編集)
06・07・06	役員会④ ・会報発行委員会(松楓48号編集)
06・07・20	役員会⑤ ・会報発行委員会(松楓48号編集)
06・08・03	役員会⑥ ・会報発行委員会一校正
06・08・24	役員会⑦ ・会報発行委員会二校正
06・08・31	役員会⑧ ・松楓48号発送作業
06・09・01	会報「松楓」48号発行
06・09・08	文化祭参加 <<新規事業>>
06・10・26	役員会⑨ ・会報について反省
06・11・14	校舎見学ツアー <<新規事業>>
07・02・01	役員会⑩ ・会報について ・総会について
07・03・10	第2回入会式(215名) 役員4名出席
07・03・11	卒業式 同窓会会長出席
07・03・15	役員会⑪ ・会報について ・総会について

令和7年度 飯能高等学校同窓会 事業計画

事業月	事業内容
07・04	入学式 同窓会会長出席
07・04	役員会 ・定期総会資料検討 ・会報発行委員会(松楓49号)
07・05	監査会
07・05	役員会 ・定期総会資料検討 ・会報発行委員会(松楓49号)
07・06	定期総会
07・06	役員会 ・会報発行委員会(松楓49号 寄稿文依頼確認作業)
07・07	役員会 ・会報発行委員会(校正作業1)
07・07	役員会 ・会報発行委員会(校正作業2)
07・08	役員会 ・会報発行委員会(発行最終チェック)
07・08	役員会 ・松楓発送準備作業
07・09	会報「松楓」49号発行・発送
07・09	文化祭参加
07・10	役員会
07・11	役員会 ・研修会
08・01	役員会
08・03	第3回入会式 同窓会役員出席
08・03	卒業式 同窓会会長出席
08・03	役員会 ・事業内容反省会等

令和6年度 飯能高等学校同窓会 収支決算書

収入の部 (自 令和6年4月1日 至 令和7年3月31日) 単位:円

科目	予算額	収入済額	比較増減	摘要
会費	1,095,000	1,075,000	△20,000	令和6年度飯能校舎卒業生(215名×5,000)
繰越金	5,249,112	5,249,112	0	前年度から
会報定期購読収入	30,000	48,000	18,000	令和6年度新規分(48名×1,000)
賛助金	10,000	168,000	158,000	24名
雑収入	888	44,303	43,415	預金利子2,303 100周年記念誌代42,000(21冊×2,000)
合計	6,385,000	6,584,415	199,415	

令和7年度 飯能高等学校同窓会 予算

収入の部 (自 令和7年4月1日 至 令和8年3月31日) 単位:円

科目	本年度	前年度	比較増減	摘要
会費	1,245,000	1,095,000	150,000	令和7年度卒業予定者(249名×5,000)
繰越金	4,696,891	5,249,112	△552,221	前年度から
会報定期購読収入	30,000	30,000	0	松楓定期購読収入(30名×1,000)
賛助金	10,000	10,000	0	
雑収入	109	888	△779	預金利子等
合計	5,982,000	6,385,000	△403,000	

支出の部 単位:円

科目	予算額	支出済額	比較増減	摘要
会議費	80,000	44,483	35,517	役員会 25,367 入会式 19,116
總會費	100,000	38,640	61,360	
会報発行費	800,000	616,448	183,552	松楓48号(9月1日発行)
慶弔費	30,000	0	30,000	
事務費	50,000	31,903	18,097	文具代 11,988 コピー代 4,400 手数料 15,515
事業費	250,000	250,000	0	学校応援事業
研修費	50,000	0	50,000	
保守管理費	130,000	121,000	9,000	サーバー保守料データ管理料
備品費	700,000	435,050	264,950	書庫382,800(2台) カーテン52,250
積立金	350,000	350,000	0	学校応援事業等基金積立金
予備費	3,845,000	0	3,845,000	
合計	6,385,000	1,887,524	4,497,476	

支出の部 単位:円

科目	本年度	前年度	比較増減	摘要
会議費	70,000	80,000	△10,000	役員会
總會費	100,000	100,000	0	
会報発行費	800,000	800,000	0	松楓(49号)印刷
慶弔費	30,000	30,000	0	
事務費	50,000	50,000	0	事務用品等
事業費	250,000	250,000	0	学校応援事業等
研修費	50,000	50,000	0	
保守管理費	130,000	130,000	0	サーバー保守料データ管理料
備品費	350,000	700,000	△350,000	
積立金	350,000	350,000	0	学校応援事業等基金積立金
予備費	3,802,000	3,845,000	△43,000	
合計	5,982,000	6,385,000	△403,000	

収入合計6,584,415円-支出合計1,887,524円=4,696,891円(令和7年度へ繰越し)
 【財産目録】 普通預金 4,696,891円
 定期預金(学校応援事業等基金) 650,061円

【基金残高】 学校応援事業等基金 650,061円

次回 同窓会総会
令和8年6月6日(土)



令和7年6月7日(土)に、「極和美膳 暖らん」にて飯能高校同窓会定期総会が開催されました。
 飯能高校からは、矢鳥校長先生、發智教頭先生、滝沢事務部長、100周年記念事業実行委員会木川会長も参加され、25名にて行われました。
 そして、第2部として開催されました親睦会にもほとんどの方が参加し、楽しい交流の場となりました。

令和7年度 総会開催

卒業生からのお知らせ

「湯川司書送別会報告」

2025年3月に、湯川司書送別会が18年度(23年度と幅広い年代の卒業生達15名と共に無事開催できましたことをご報告いたします。図書室ではビブリオバトル・人生ビブリオ・テールゲームなどを通して参加者達が学年の枠を超えて遊び、語り合い、思い思いの時間を楽しく過ごしていました。在学当時と変わらぬ図書室の空間を作り上げられたことが運営としてとても嬉しく思います。

二次会では、1人ずつ湯川司書への想いを伝える時間を設けました。皆それぞれに在学当時に懐かしみ、思い出話と共に感謝を伝えていました。

湯川司書は「図書室に来た生徒に対し自分から声をかけるのではなく、困って(図書館に)来たときに話を聞く。癖がある生徒ばかりだが、それぞれのいい所だけを褒める。否定しない。いい所だけを伸ばせば悪い所は自然と消えていく。」と仰っていました。そんな湯川司書だからこそ多くの卒業生が集まり、この会を開催できたのではと思います。湯川司書9年間お疲れ様でした。

最後になりましたが、記事の掲載をご協力してくださいます。飯能高校同窓会並びにお集まりいただいた卒業生の皆様、及びご協力していただきました皆様ありがとうございました。

71回卒 徳江



「25回卒3年3組70歳クラス会」

令和6年10月26日(土) 徳樹庵飯能店にて70歳のクラス会を開催しました。



10年前の60歳の集い以来、毎年クラス会を開催しています。参加者は、毎年15名から20名が参加しています。皆さん元気です。二次会に行くこともありません。また、来年会いましょうを合言葉に続けています。 中里

「30回卒3年7組クラス会」

本年6月21日にクラス会を開催しました。22人が参加し、久々の再会に思い出話、自慢(?)話、近況について会場一面に楽しいお話の花を咲かせました。

次回のクラス会は、2年後の予定です。より多くの参加者を期待しています! 奥田、若林

「37回卒2年3組クラス会」

14年前から毎年クラス会を開催しています。9年前からは担任の新野先生にも出席して頂き、懐かしくも新鮮なひと時を過ごしています。



「では、また来年も逢いましょう!」これが閉会の言葉となっています。卒業して40年。皆の笑顔は昔と変わらず輝いています。 中村桂子

同窓会会員の皆様にお知らせしたいことや写真等がございましたら、飯能高等学校同窓会ホームページのお問い合わせからご連絡ください。

Homecoming Day

飯高文化祭

「榛の木祭」に行って
昔の写真を見よう!

同窓会では飯高の文化祭「榛の木祭」に参加し、飯高の昔の写真を展示します。ぜひ、昔の写真を見に来てください。
※創立100周年記念誌を販売しています。
1冊2,000円



日 時 令和7年9月7日(日) 9:30~15:00
(一般公開日)
場 所 飯能高校 同窓会コーナー(2階通路)

在校生・卒業生
(フラダンス未経験の方)

みんなで
踊ろう フラダンス

26回卒 榎本彰子先生による「フラダンス体験研修会」を開催します。

日 時 令和7年11月1日(土) 10:00~12:00
集 合 10:00 事務室前
場 所 飯能高校 セミナーハウス2階
募集人数 在校生 15名
卒業生 15名
申込方法 在校生は学校事務室へ
卒業生は同窓会役員又は、同窓会ホームページへ10月15日(水)までにお申込みください。

同窓会事務局からのお知らせ

住所等変更届

住所、氏名等が変更になったときは、事務局又は下記のアドレスにご連絡ください。

*同窓会ホームページお問い合わせアドレス
hankou.dousoukai@gmail.com

ホームページのご案内

パソコン又はスマホから「飯能高校同窓会」で検索しますと、ご覧いただくことができます。是非とも、多くの方にご覧いただきますように。



飯能高校同窓会

新生飯能高校 第2回同窓会入会式

令和6年度の卒業証書授与式の
前日、令和7年3月10日（月）
に同窓会入会式が行われ215
名が入会しました。



創立100周年記念誌の販売

創立100周年記念誌は、残数限りとなりますが、1冊
2000円にて販売しております。

ご購入をご希望される方は、飯能高等学校同窓会ホームペ
ージのお問い合わせからご連絡を頂くか、あるいは左記のメ
ールアドレスまでご連絡ください。

E-Mail: hankou.dousoukai@gmail.com

尚、お申し込みの際には、必ず、ご住所、お名前、電話番
号をご連絡いただけますようお願いいたします。

「同窓会コーナー」の 表示ができました

飯能高校のセミナーハウ
スにあるラーニングコモン
ズ（自習室）の一角にある
同窓会のコーナーに「同窓
会コーナー」の表示がつけ
ました。これは、第26回卒
の馬場正春氏からご寄贈い
ただいたものです。ありが
とうございます。



「松楓」定期購読 賛助金の申し込み

- ・郵便局の「払込取扱票」
でお申し込みいただけます。
- ・払込取扱票は、役員また
は飯能高校の事務室窓口
で配布しています。
- ・振込手数料は無料です。

飯能高校同窓会では、同
窓生の様子や学校の近況を、
多くの会員の方々に知って
いただきたく、毎年会報「松
楓」を発行しています。

この「松楓」は、定期購
読（5年間1000円）で
きます。

また、同窓会の活動に賛
助していただける皆様に、
賛助金をお願いしています。

定期購読料、賛助金は、
郵便局の払込取扱票で振り
込むことができます。払込
取扱票は、同窓会役員また
は飯能高校事務室窓口で配
布しています。

定期購読、賛助金とも手
数料は同窓会が負担し無料
です。

令和7年度 同窓会役員一覧

顧問	矢島 得充（学校長） 田中 晃一（16回卒） 本橋憲一郎（20回卒） 澤田 清志（23回卒） 町田多加次（4回卒）
参与	都築 敏夫（24回卒） 市川 光男（24回卒）
副会長	中里 敏男（25回卒） （事務局長）
幹事	（総務） 新野代里子（28回卒） （会報） 佐野 勇（34回卒） 豊田 美子（35回卒） 嶋田 一幸（36回卒） 若林 淳子（30回卒） 奥田由記子（30回卒） 谷ヶ崎艶子（24回卒） 鯨井 暢（28回卒）
監事	鯨井 暢（28回卒）
会計	奥田由記子（30回卒） 若林 淳子（30回卒） 嶋田 一幸（36回卒） 豊田 美子（35回卒） 佐野 勇（34回卒）
会報委員	細田 宏子（28回卒） 矢島幸一郎（35回卒） 吉田 実（35回卒） 新井 康雄（定24回卒） 平沼 文男（定26回卒） 小澤 真帆（65回卒）
校内理事	小澤 真帆（65回卒）



令和7年度 学校の近況について



教頭
發智 祐助

今年度、全生徒の制服が揃い、飯能新校となつて3年目を迎えました。4月8日入学式では、埼玉県議会議員の内沼博史様から、これからの飯能高校に期待する御祝辞をいただきました。

さて、今年度は新校1期生が卒業する年となります。新校になり、これまで朝学習や補習などに取り組んできました。更に今年度は3年間の集大成として、難関大学を目指す生徒を対象として、生徒1人に対して受験に必要な科目の分だけ教員を充てる個別指導を行つていきます。

話は変わりますが、最近、飯能高校のホームページを御覧になられましたでしょうか。昨年からは今年にかけて、ホームページをパソコンやスマートフォンからでも見やすいレイアウトに変更いたしました。また、日々の記事載せている「飯高ライフ」では、これまで以上に力を入れ、今年度も多くの動画を掲



載しております。学校の様子が一目で分かる動画となっておりますので是非御覧ください。また、5月22日NHKの首都圏ネットワークで、探究部の活動として、飯能名物のらぼう菜を使ったラーメンが紹介され、飯能高校が一躍有名になりました。

目指す学校像にもあるように、進学を重視しつつ、多様な進路希望実現のため、生徒一人ひとり最後まで伸ばし続ける面倒見の良い教科指導・進路指導を継続してまいります。

これからも地域の方々、同窓会の皆様のお力をさらにお借りしながら、生徒がたくましく生きる力を育てる教育を進めて行きたいと思えます。引き続き本校の教育に御理解・御協力をいただければ幸いです。

◎主な学校行事

4月 入学式(8日)

277名の新入生を迎えました。



4月 遠足(25日)

1年生は相模湖MORI MORIにて飯盒炊飯等を行い、クラス内で交流を深めました。2年生は修学旅行に向けて東京駅に集合し、班ごとに計画を立てて都内各所を見学しました。3年生は東京デイズニderlandに行き、親睦を深めました。最高の遠足日和で、生徒の様々な表情を見ることができました。

5月 PTA総会(10日)

当日は、公開授業ののち、各種委員会、総会が開催されました。令和6年度の事業・決算報告、令和7年度の事業・予算案は無事に承認されました。

5月 ツーデーマーチ(24日)

例年11月に実施していたウォーク21を変更し、今年度から飯能市主催の飯能新緑ツーデーマーチに参加することにしました。初めての参加で不安もありましたが、飯能市の全面バックアップのもと、無事に実施することができました。



◎今後の主な学校行事

9月7日(日) 榛の木祭(文化祭)ですが、今年度も一般公開を予定しております。同窓会ブースの設置も計画しておりますので、ぜひ御来場ください。

11月6日(木) 体育祭、5月にツーデーマーチへ参加した関係で、11月実施に変更となりました。毎年盛り上がる学校行事、今年度も生徒同士が力を合わせて優勝を目指します。

◎部活動の大会実績等

令和7年度

(6月中旬までの主な活動状況)

ホッケー部

男子 関東大会準優勝
インターハイ(鳥取) 出場決定
女子 関東大会3位

卓球部

男子 シングル 県大会出場
女子 団体 県大会出場

バドミントン部

男子 ダブルス 県大会出場

陸上競技部

男子 400mH 県大会準決勝進出
男子 400mR・1600mR・走幅跳 県大会出場

弓道部

県大会出場

ソフトテニス部

男子 個人戦 県大会出場

剣道部

男子 団体 県大会出場

令和6年度

サッカー部

サッカークラブ

県大会 高校サッカー選手権決勝トーナメント進出

チアダンス部

USA Nationals
全国大会 Jazz 部門出場

吹奏楽部

JBA 埼玉県部会管打楽器ノ
ロコンテスト 銀賞

母校だより

マルチメディア部

顧問 梁川 幹男

パソコン部門では、PC室にて主に動画制作に取り組んでいます。現在は、部活動紹介や学校行事をテーマに、自分たちで企画・撮影・編集を行い、学校の魅力を発信することを目指しています。カメラワークやテロップ、音声など細部にもこだわりながら、見る人の心に残る映像をつくることを意識しています。

今年度は、やる気のある1年生が数名入部し、新たに加わった顧問とともに、新体制で活動を進めています。顧問も映像制作を趣味としており、生徒と一緒に学びながら、互いに刺激を受け合う関係が築かれています。完成した動画は、ホームページや公式Instagramで発信していく予定です。

また、パソコン部門では過去に音楽制作やプログラミングにも取り組んでおり、今後はそうした分野にも再挑戦し、活動の幅を一層広げていきたいと考えています。

放送部門は、学校行事のアナウンス業務を担当しています。体育祭や文化祭などの場面で、聞き取りやすく正確、かつ行事を盛り上げられるような放送を目指しています。今年度はまだ日常的な活動は設定できていませんが、これからは昼の校内放送や行事前の特別放送など、特色のある取り組みにも力を入れていく予定です。放送を通じて、生徒の学校生活をより充実したものにするよう努めてまいります。

弓道部

顧問 山岸 岳央

弓道部は、現在1年生10名、2年生13名、3年生9名の計32名で活動しています。初心者で入部する生徒が大半を占めており、基本を積み重ねながら、確実に力を伸ばしています。部員たちは、弓道を通じて技術だけでなく、人としての成長も目指し、仲間とともに日々稽古に励んでいます。

練習日は、平日4日と休日1日の週5日行っています。校内にある弓道場には最大6つの的を設置でき、集中して取り組みやすい環境が整っています。技術指導においては、現在経験豊富な外部コーチ2名をお招きし、基礎から応用まで段階的に学べる体制となっており、初心者でも安心して取り組みます。個々の目標に応じたアドバイスが受けられることで、着実に成長している様子が伝わってきます。

弓道は「礼に始まり礼に終わる」武道であり、試合や日常の練習を通して、礼儀や集中力、忍耐力、冷静さを自然と身につけていくことができます。また、学年間のつながりも深く、互いに教え合い励まし合いながら、技術だけでなく人間関係の面でも大きく成長しています。



現在の目標は、県大会で団体・個人での入賞を果たすことです。この目標を胸に、日々の稽古や練習試合に真剣に向き合い、目標を果たせるよう努力を重ねています。今後とも、地域の皆様や保護者の皆様からの温かいご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

令和7年度人事異動

(退職)

主任司書 湯川 康宏

(転出)

教頭 山本 仁 (朝霞定時制)

教諭 蘆名 伸明 (川越高校)

教諭 稲村 香菜 (所沢西高校)

教諭 尾又 香 (川越初雁高校)

教諭 金子 龍馬 (県総務部学事課)

教諭 菅沼 範之 (川越女子高校)

教諭 今井 一則 (川越南高校)

教諭 大澤 剛士 (戸田翔陽高校)

教諭 小野澤希美 (入間向陽高校)

教諭 塚原 利枝 (富士見高校)

教諭 仲川 勇作 (富士見高校)

事務部長 黒沢 伸江 (秩父農工科学高校)

主任 川口 ひな (新座総合技術高校)

(転入)

教諭 阿部 政弘 (所沢西高校)

教諭 伊藤 博彦 (豊岡高校)

教諭 加藤 翔 (鳩山高校)

教諭 梁川 幹男 (豊岡高校)

教諭 山本 頌悟 (熊谷高校)

教諭 岩崎 勝美 (入間向陽高校)

教諭 及川愛理沙 (初任者)

教諭 坂田 直弥 (豊岡高校)

教諭 醍醐 千尋 (本校南校舎)

教諭 中野 法子 (熊本球磨中央高校)

事務部長 滝沢 弘樹 (芸術総合高校)

主事 加藤 京子 (狭山工業高校)

主任司書 高橋 秀人 (本校南校舎)

会計年度任用職員 赤松 昌幸 (本校南校舎)

新制服のご紹介

新校となったタイミングで制服が変わっていましたが、今年度から全生徒が新制服になったということで、簡単に新制服の紹介をさせていただきます。

ネイビーを基調としたスーツスタイルで、濃紺のブレザーにチェック柄が入ったスラックスとスカート、それにストライプ柄のネクタイとリボン

を白いワイシャツに合わせたスタイルとなっています。また夏服には動きやすいポロシャツ（紺・白）もあり、運動部の生徒が着用しているのをよく見かけます。ワイシャツよりも涼しげに見えて、それでも上品に見えるところがポイントです。ほかにもグレーとオフホワイトのベストがあり、夏はワイシャツにベスト姿で過ごす生徒も多いです。そして冬になると、濃紺のVネックセーター



ブレザー



セーター



ポロシャツ

をブレザーの下に着用する生徒も数多くいます。スラックスやスカート、ポロシャツやベストなど、一人一人が自分らしくいられることを大切に「ジェンダーレス・デザイン」を採用しているため、生徒たちはいろいろな着こなしを楽しんでいます。

なかなか制服をご紹介する機会がなく、遅くなってしまいましたが、この制服を見かけましたらぜひ飯能高校を思い出してほしいと思います。

同窓会理事名簿追加 (第2回卒業生同窓会理事)

令和7年3月卒業(新2回)された同窓生の中から、左記の方が理事となりましたので紹介いたします。

1組	荒井 陸
2組	加藤 佑斗 池田 日向
3組	中島 大輝 鶴賀 美舞
4組	松井 香璃 青木 咲穂
5組	沖倉 波音 齋藤 礼音
6組	清水 俊斗 新堀 一牙
学年代表	村野 禅 清水 俊斗



今回49号の植物とカエルのイラストは「3びきのあまがえる」シリーズ(世界文化社)、『みんなのかきのみ』(福音館書店/ちいさながくのとも2025年11月号)など出版されたかわしまはるこさん・37回卒の作品を転載いたしました。

編集後記

「松楓」第49号に向けて、多くの方に原稿や写真をお寄せ頂き、心より御礼申し上げます。原稿を読ませて頂くと、懐かしい高校生活が蘇ります。

同窓会として、文化祭への参加などが、同窓生と在校生との繋がりが持てる企画を考えていきたいと思っております。

皆様のご協力をよろしくお願ひ致します。

H・H

【編集委員】(◎編集委員長)

都築 敏夫	新井 康雄
市川 光男	平沼 文男
中里 敏男	若林 淳子
◎新野代里子	奥田由記子
細田 宏子	佐野 勇
矢島幸一郎	豊田 美子
吉田 実	嶋田 一幸

会報「松楓」第49号

令和7年9月1日

編集・発行 埼玉県立飯能高等学校同窓会

発行責任者 会長 都築 敏夫

印刷 (有)ミネ五十子印刷